



也

豪傑譚

廿七號

柳下亭種真作
一旌齋國光画

甘泉堂梓泉

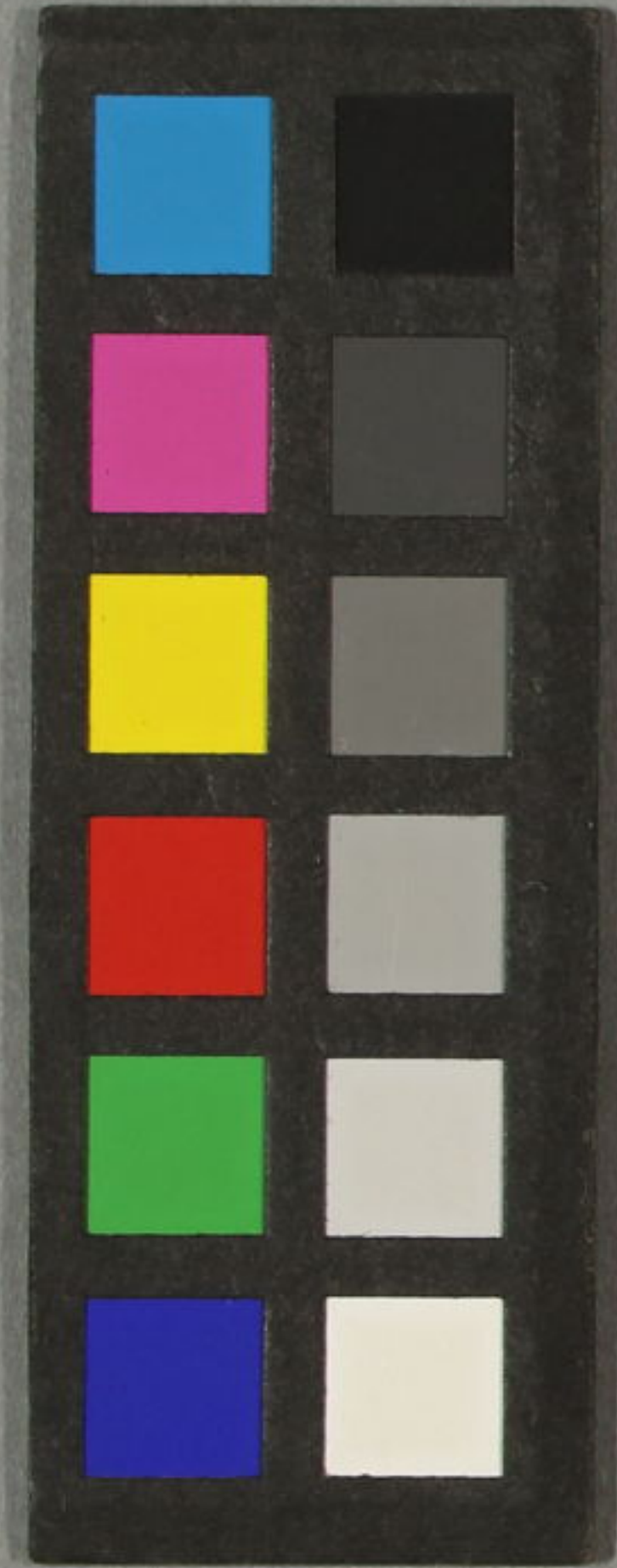


一多無字

~13

3877

14





兒雷也豪傑譚

七

外題申立団扇

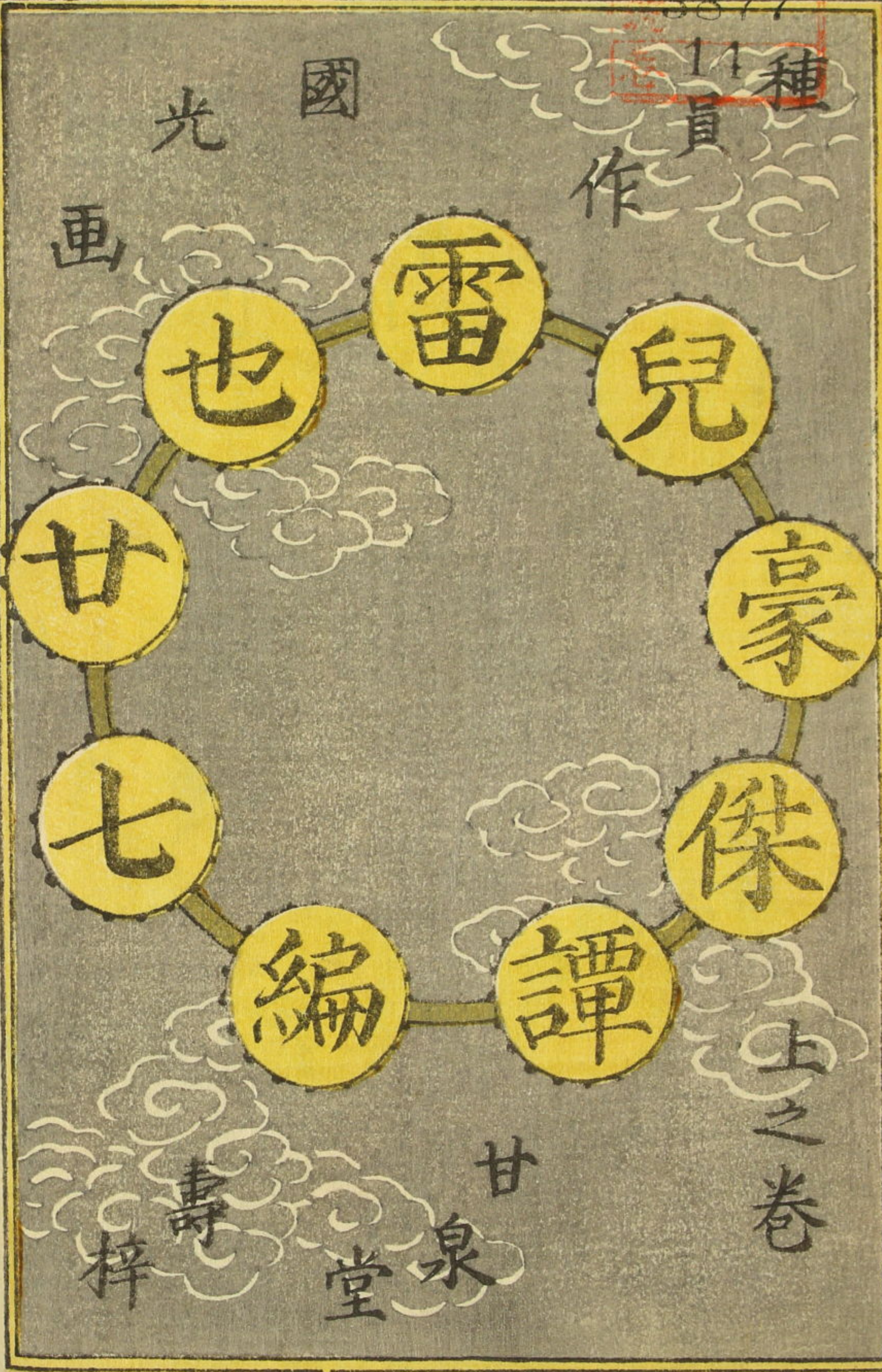
上

門へ17

3877

種員

作

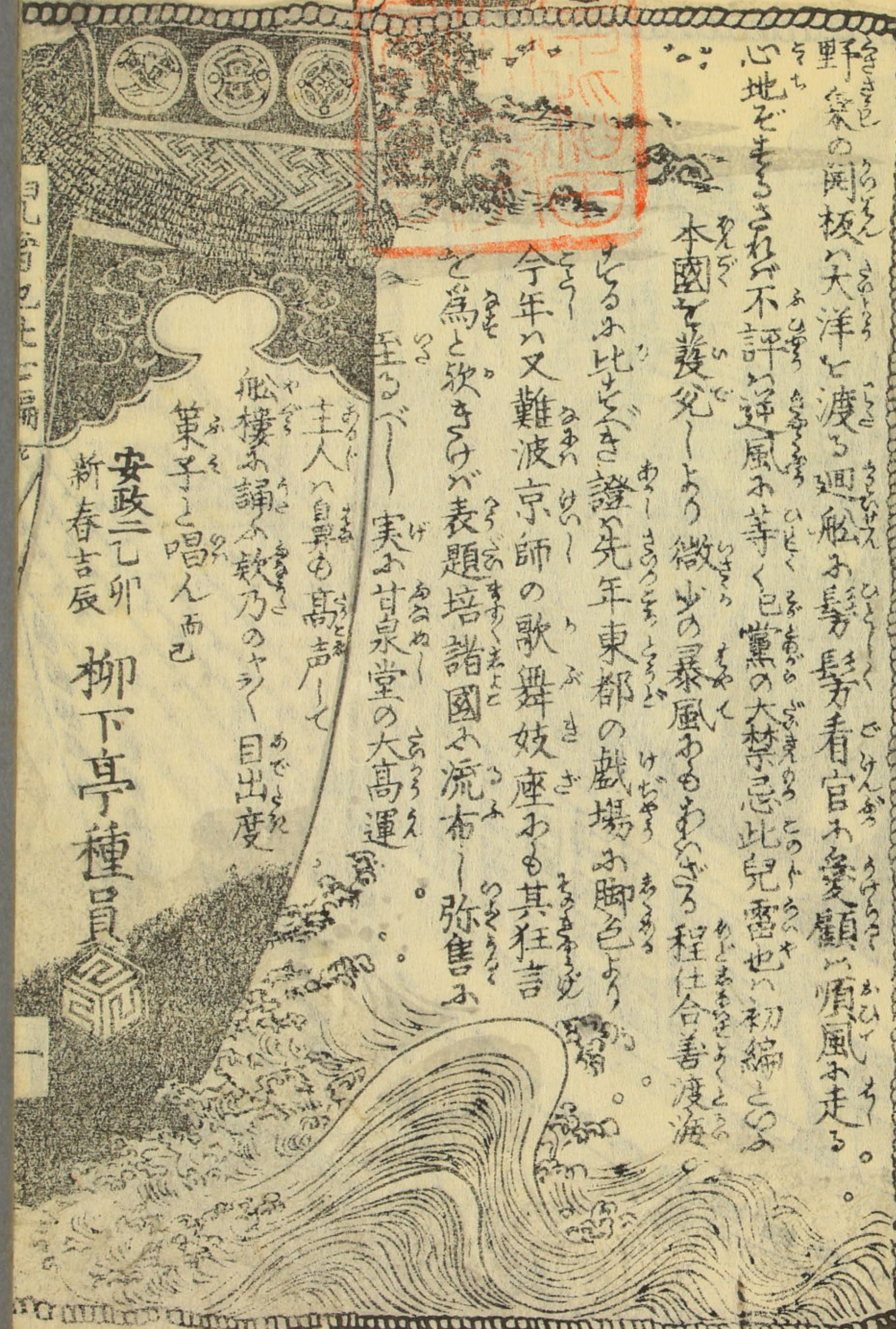


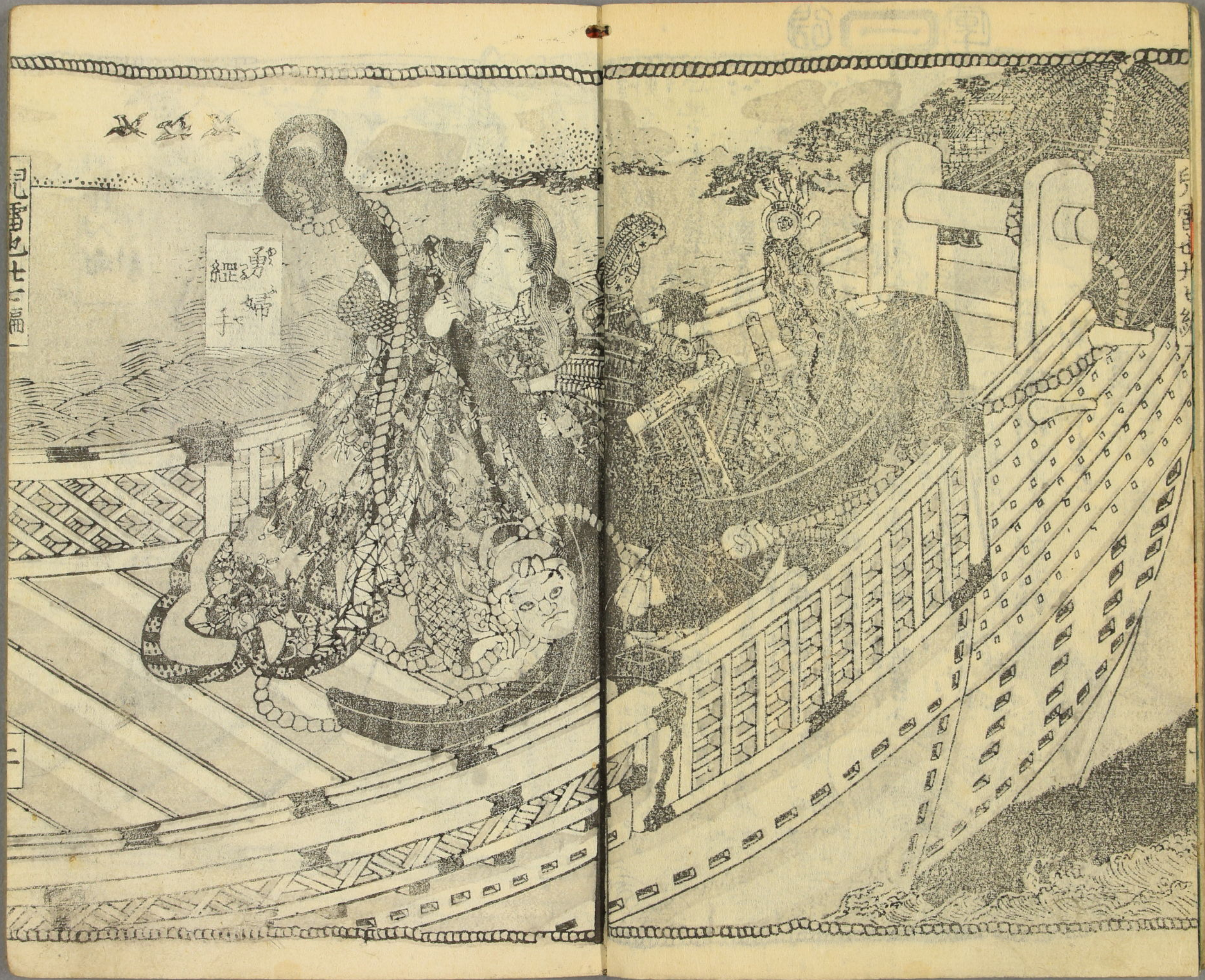
野氣の岡板の大洋と渡り廻船も髪髪看官も愛顧の順風も走る。
 心地をまもる不評の逆風も等しく已黨の大禁忌此兒雷也の初編といふ
 本國を羨死しより微少の暴風もあつる程は合善渡海

今更に比とどき證の先年東都の戯場も脚色より
 今年ハ又難波京師の歌舞妓座も其狂言
 と為と欲きけが表題培諸國の流布一弥售ふ
 至るべし 実ふ甘泉堂の大高運

主人の自昇の高声して
 船樓の誦の軟乃のヤク目出度
 策子と唱ん而已

安政二乙卯 柳下亭種員

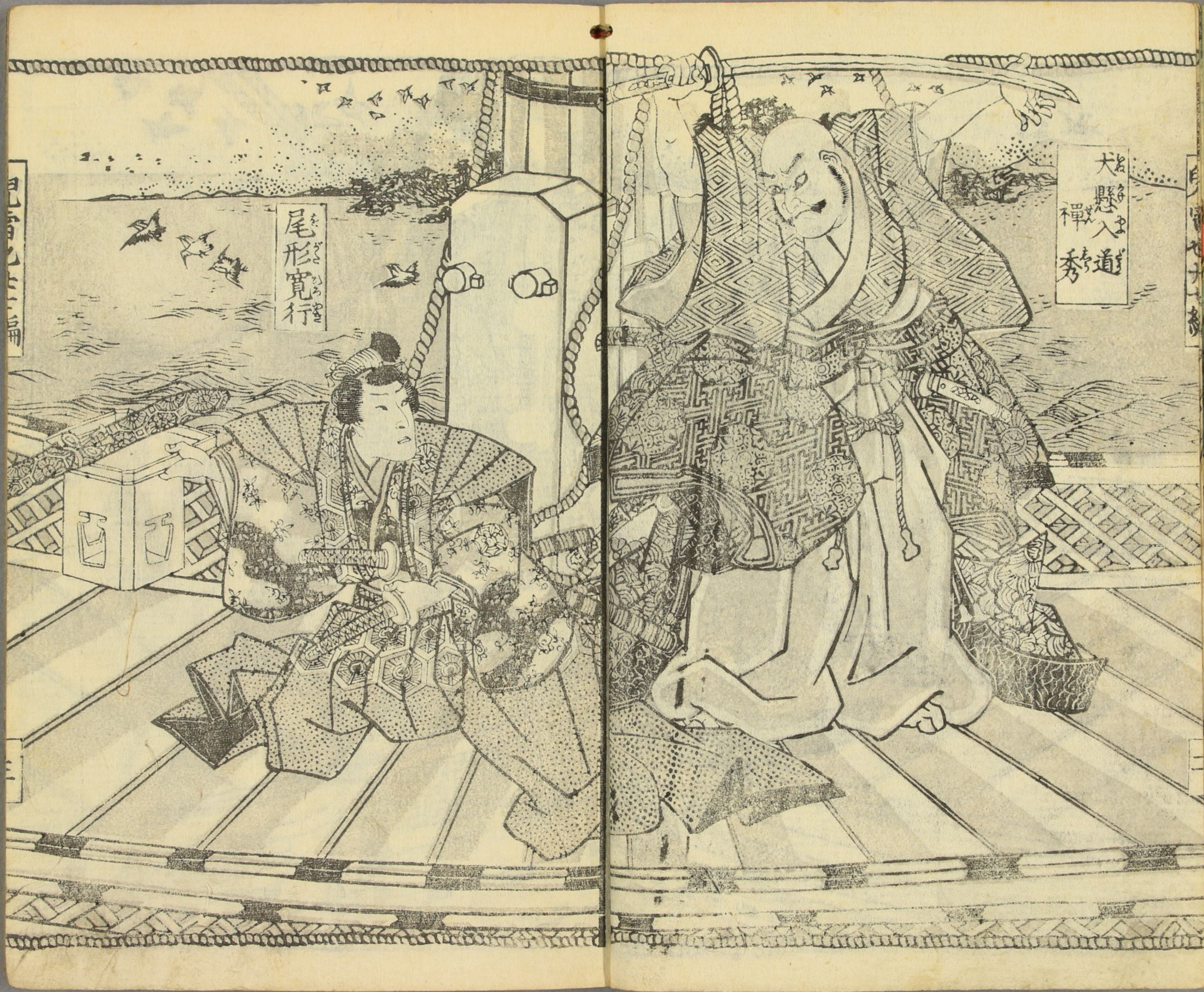




勇婦和

勇婦和

勇婦和

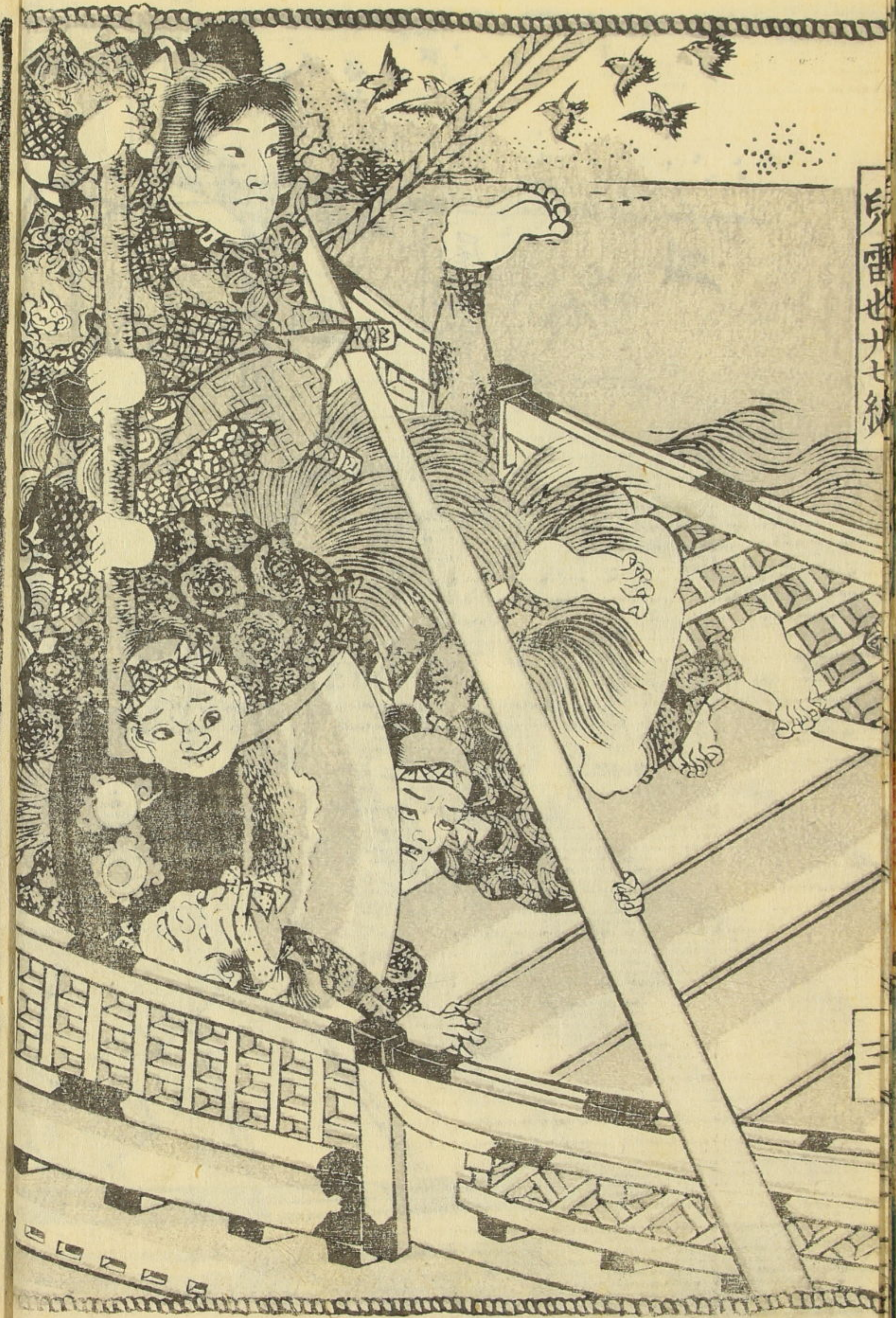
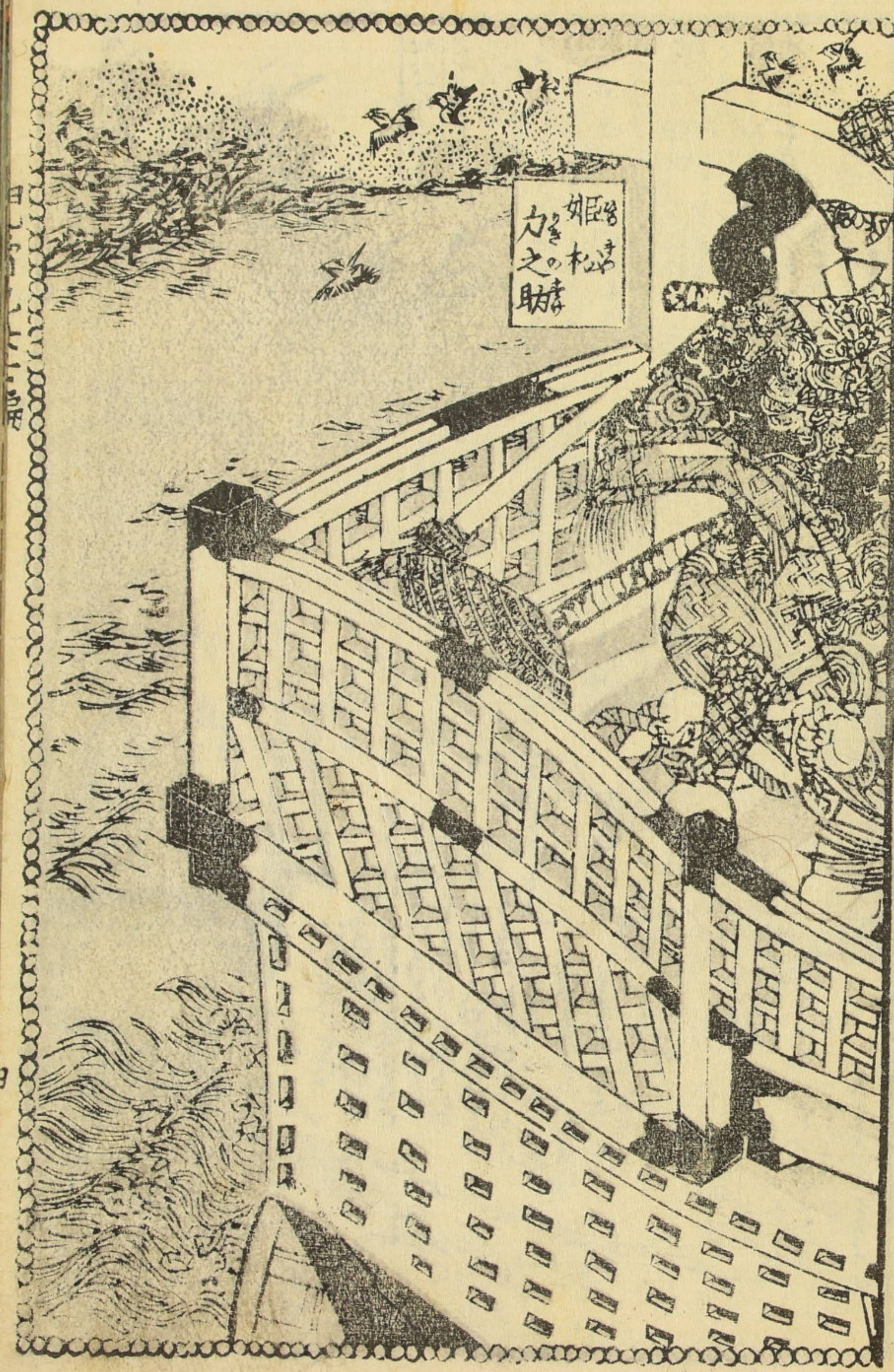


尾形寛行

大懸入道
秀

尾形寛行

大懸入道



江戸の風景



この風景は江戸の風景である。上には荷物を背負った人々が歩いている。下には二人の男が地上で相撲を打っている。この風景は江戸の風景である。

江戸の風景

江戸の風景



この風景は江戸の風景である。上には荷物を背負った人々が歩いている。下には二人の男が地上で相撲を打っている。この風景は江戸の風景である。

江戸の風景



ついでにさしやうの由きて
あつたさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの

あつたさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの

あつたさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの

あつたさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの

あつたさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの

あつたさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの
さきまのさきまのさきまの

ついで

法門

かき

かき

かき

かき

かき

かき

かき

合中人

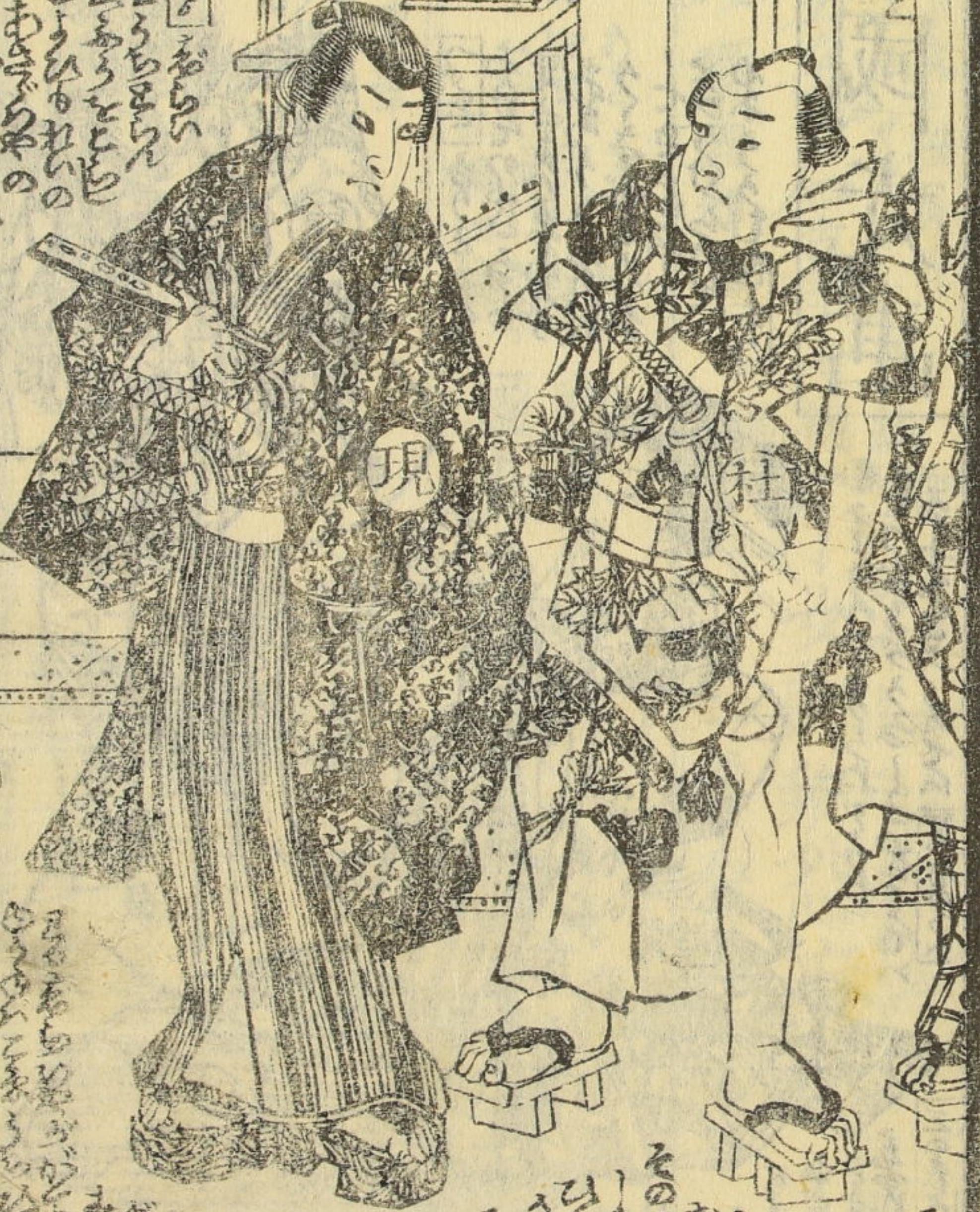
かき

かき

かき

洋屋

かき



かき

合中人

合中人

合中人

片雷七九七

禁玉壺生肌膏 一月 卅六孔
此膏之靈效一切の瘡癤
丸のをもたへるあはれも
まま

金瘡 奇功紙
一枚廿四孔

新吉原 樓
製菓所 眞乳山菓石坂下
取次所 柳下亭



種員作國光画

新吉原 樓
製菓所 眞乳山菓石坂下
取次所 柳下亭



女郎花五色石臺 六編
一雄齋國輝画

小女郎缺心麻環 三編
一勇齋國芳画

風俗淺間嶽 種久作
三編四編 國貞画

黄金水大盡盃 三編四編

立齋廣重筆
東海道舟之次繪巻

爲永春水作
歌川國貞画

小栗十騎 三編
照天松操月鹿毛 四編
金沢八景 五編

春風亭柳枝作
一雄齋國輝畫

嘉永八乙卯新板目錄

地本草紙問屋 芝神明前 和泉屋市兵衛板



一雄齋國光画

柳下亭種員作

甘泉堂梓



兒雷也廿七編下冊

いんげんがふん
まじりあかまじり

いんげんがふん
まじりあかまじり

和泉屋市之助板



此の巻のついでに...

此の岸川昔語

上のあきり...

月ふりてあかまじり...
いんげんがふん...
まじりあかまじり...
いんげんがふん...



西藤澤宿
南江の一まじり

三十七二編

一



〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる

〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる

〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる



〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる



〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる

〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる
 〆中へやらしきる





ついでに
あつち
ついでに
あつち
ついでに
あつち

×れんぶのせ

田左衛門
おれは
おれは

田左衛門
おれは
おれは



川は
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち



この巻のうら...
 山年
 あつち

あつち
 山年

あつち
 山年



あつち
 山年

あつち
 山年

あつち
 山年

あつち
 山年
 あつち
 山年

あつち
 山年

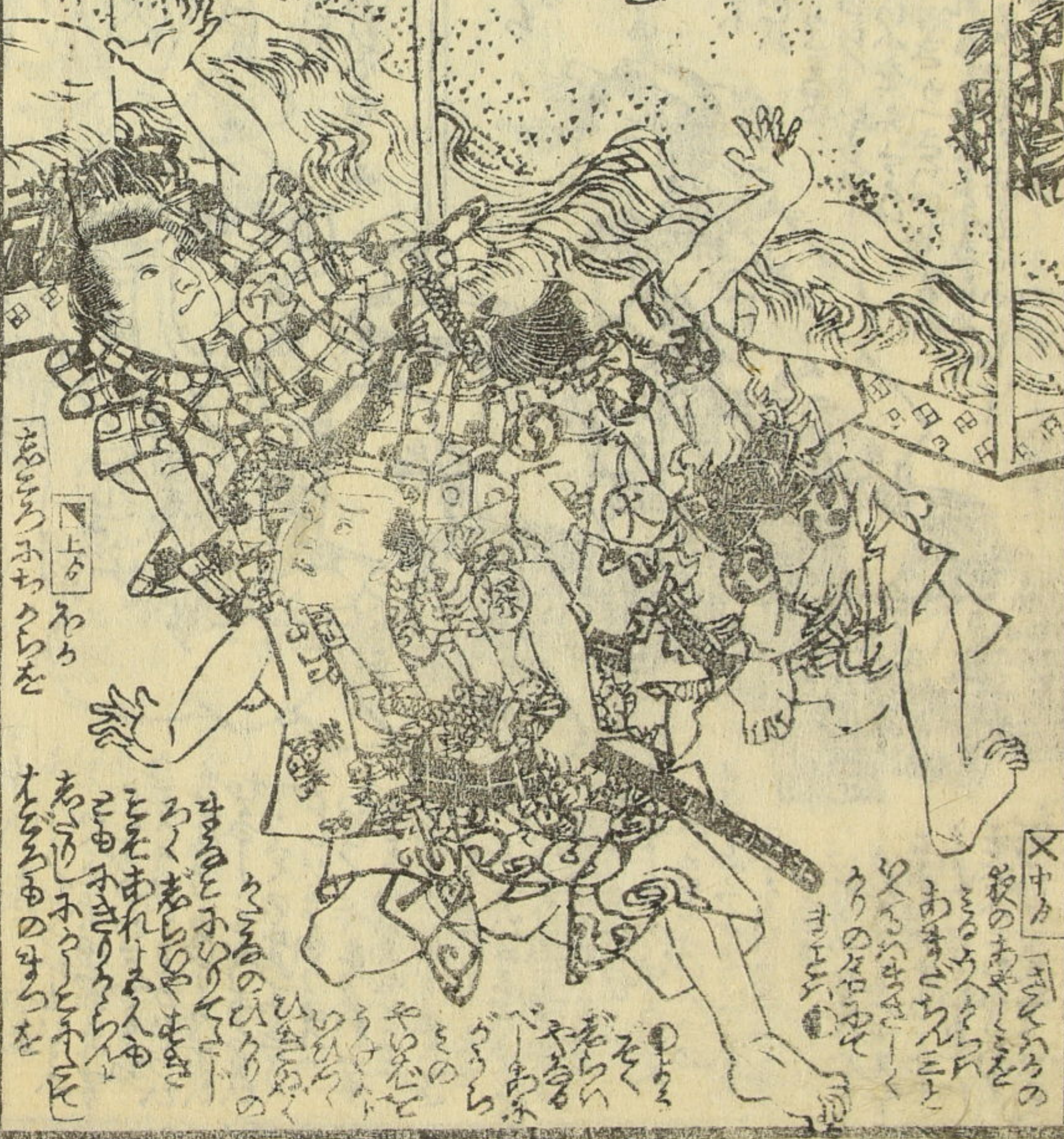
あつち
 山年

古松の精
画面小
現れて再度
兒雷也の
恩小報



古松の精は
ひてあんなをあらわ
ゆのる人いあらわ
このときやんやん
むらういもあらわ
われあゆのり

古松の精



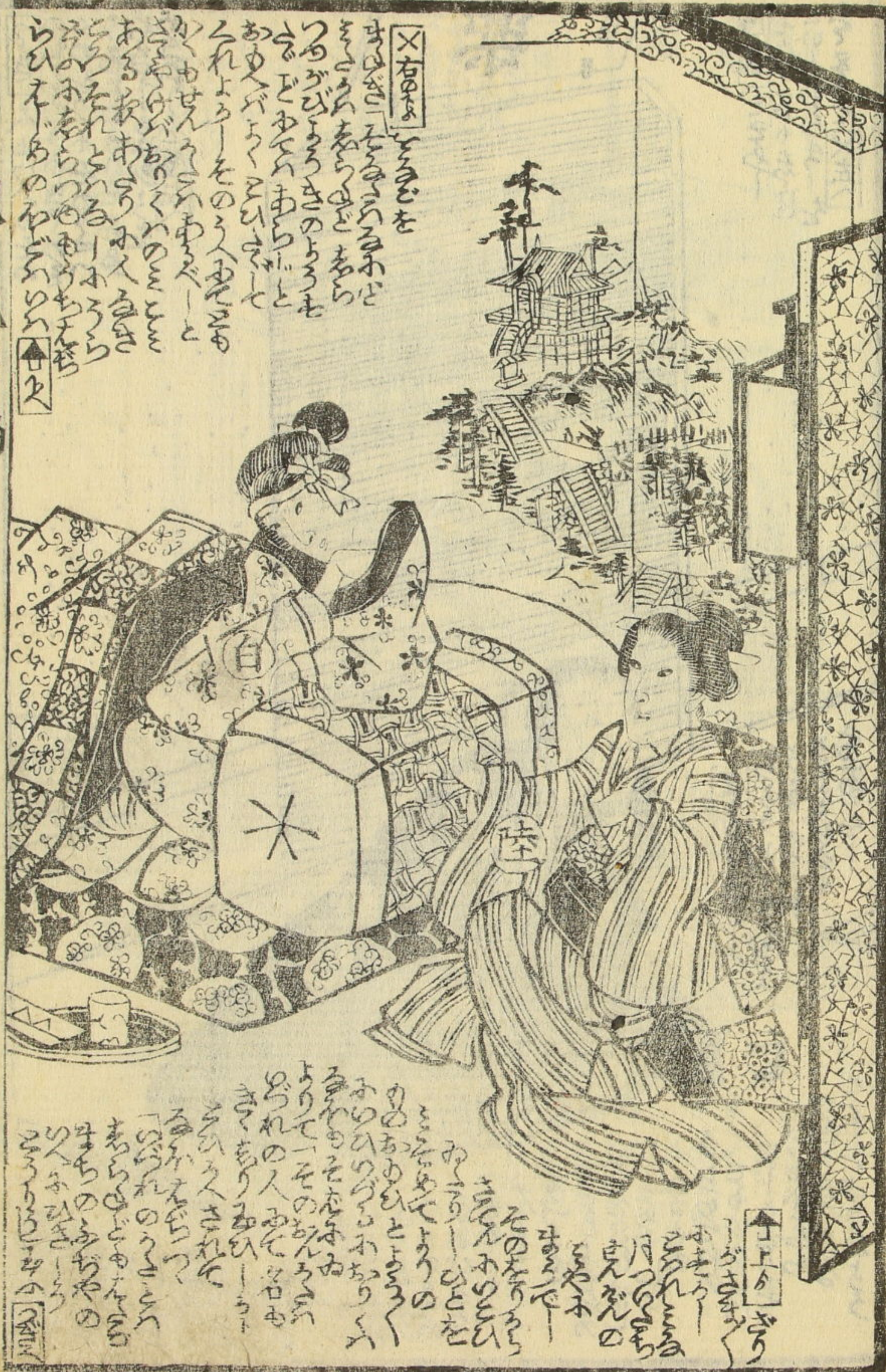
古松の精は
ひてあんなをあらわ
ゆのる人いあらわ
このときやんやん
むらういもあらわ
われあゆのり

古松の精

つぎ せん
きをむひと
る一のめ
いのちを
このを
まもふ
あつた
おのれ
とせ
ひまも
名の
あつた
さあ
い
るりと
まね
ふ
さ
ろ
の
さ
れ
く
ち

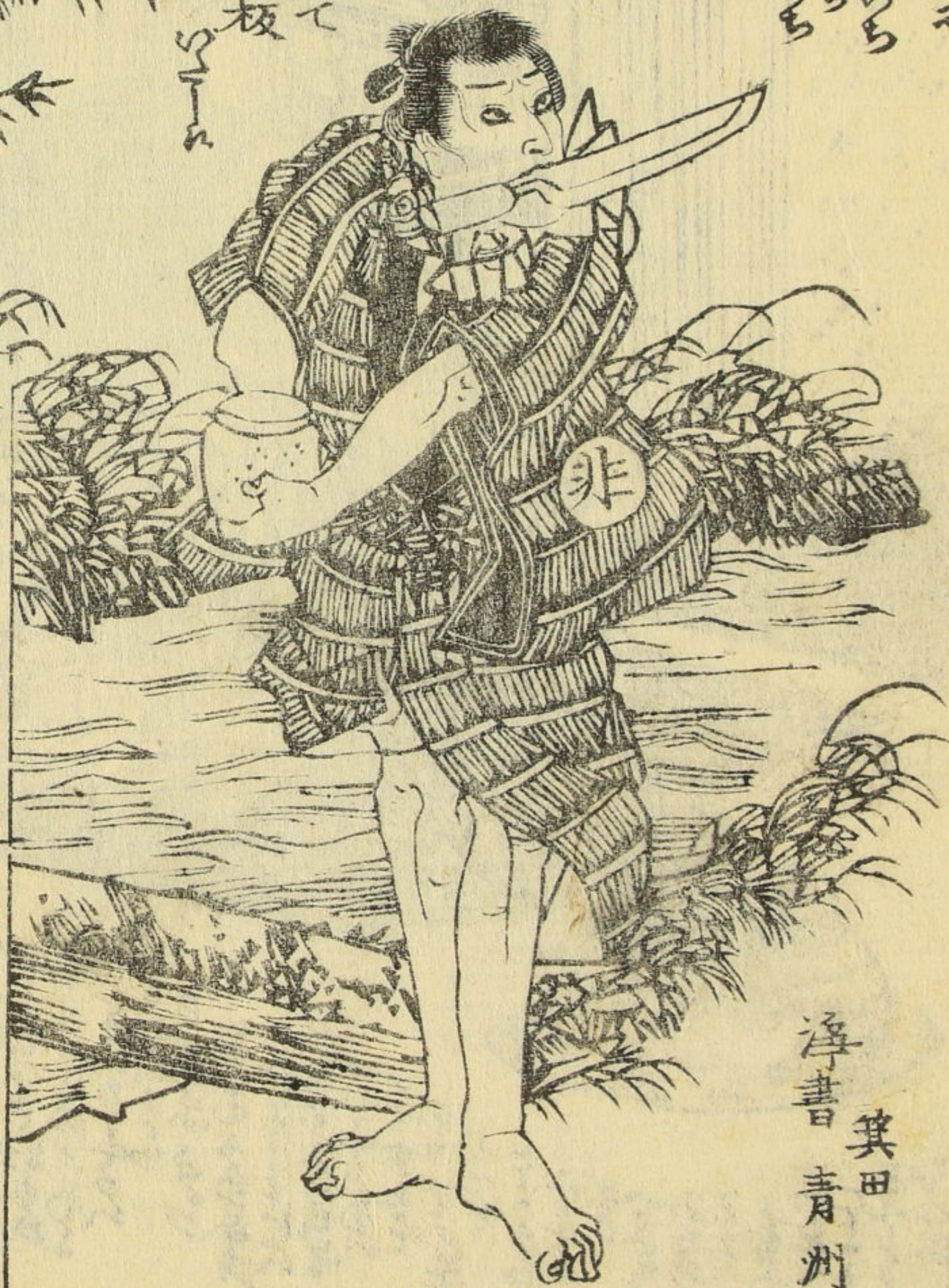


いふ
のり
あつた
おのれ
とせ
ひまも
名の
あつた
さあ
い
るりと
まね
ふ
さ
ろ
の
さ
れ
く
ち



X せん
きをむひと
る一のめ
いのちを
このを
まもふ
あつた
おのれ
とせ
ひまも
名の
あつた
さあ
い
るりと
まね
ふ
さ
ろ
の
さ
れ
く
ち

つぎせられつらひをあらうふ
まじりて
この画のよひ
此画のよひ
廿八編
説ひき
出板
浄書 其田 青洲



種員作國光画

兒雷也豪傑譚

廿六編 柳下亭種員作
廿七編
廿八編
廿九編 一雄齋國輝画

假名一休草紙
及古

七編 八編 九編
柳下亭種員作
一雄齋國輝画

新編金瓶梅

種員作
豊國画
新編 十編 馬琴作
大尾 豊國画

地本錦繪問屋

芝神明前 甘泉堂和泉屋市兵衛板



嗚呼江湖小裨官（あゝやまゝのせうくわん）と費（つら）心性（しやうせい）質（しつ）ある者（もの）あはれ彼殿（かたのとの）の重宝（じゆうほう）の失（あは）亡（れ）此人（このひと）が家の遺領（いりやう）
 争論（しやうろん）或（ある）意慕（いぼ）の亡命（むらうめい）小胸中（せうちゆうちゆう）と胸界（ちゆうがい）との合（あ）々（々）傘肩（かさかた）小掛（せうかけ）する毛氈（けしん）の赤心（あかこころ）を見せ
 わひ情死（じやうじ）事の浮氣（うきき）なるより主君（しゆきん）の身替（みか）父母（ふぼ）の讐報（しゆうほう）艱難（げんなん）辛苦（しんく）の中（なか）で
 經（た）く出世（しやうせ）小趣（せうしゆ）く安堵（あんた）の御教書（ごきやうしょ）本地（ほんぢ）へ帰奉（かへほう）の賜文（たまひぶん）善惡（ぜんあく）邪正（じやせい）何（なに）でも彼（かれ）でも
 不關係（ふくわい）との（の）東西（とうせい）を（を）左許（さかたけ）の煩慮（はんりよ）ある戯作者（げいさくしや）より遙（とほ）お超（こ）へ為他過（たが）の友人（とも）
 ありて此兇雷（しやうらい）也（なり）何編（なに）多（おほ）く太尾（たお）あるや寛行（かんぎやう）が終身（しゆうしん）の如何（いか）と問（と）きしゆゑ即
 時答（ときこたへ）しての結局（けつくりく）尾形家（おしがたけ）の再興（さいきやう）本領安堵（ほんりやうあんた）の御教書（ごきやうしょ）を賜（たま）う場（ば）が大團圓（おほだんげん）惡賊（あくさく）
 邪術（じやじゆつ）の汚名（けうめい）を脱（だつ）し世（よ）を寛行（かんぎやう）と栄（さか）ふる道條（みちぢやう）立（た）てさせたるやとわかれし又他の書（か）の宝（たから）は失（あは）
 亡（な）仇討（あやむし）やく心中（しんちゆう）やら混雜（こんざつ）ならけりてその満尾（まんび）の案（あん）も着（き）ねば（ば）己（おのれ）さへ知（し）れしと打笑（うちわら）ひ
 彼人（かれひと）の呆（おろ）けりて（を）頻（しばしば）よ太（おほ）ぬと有（あ）り實話（じつわ）を爰（こゝ）に記（し）す

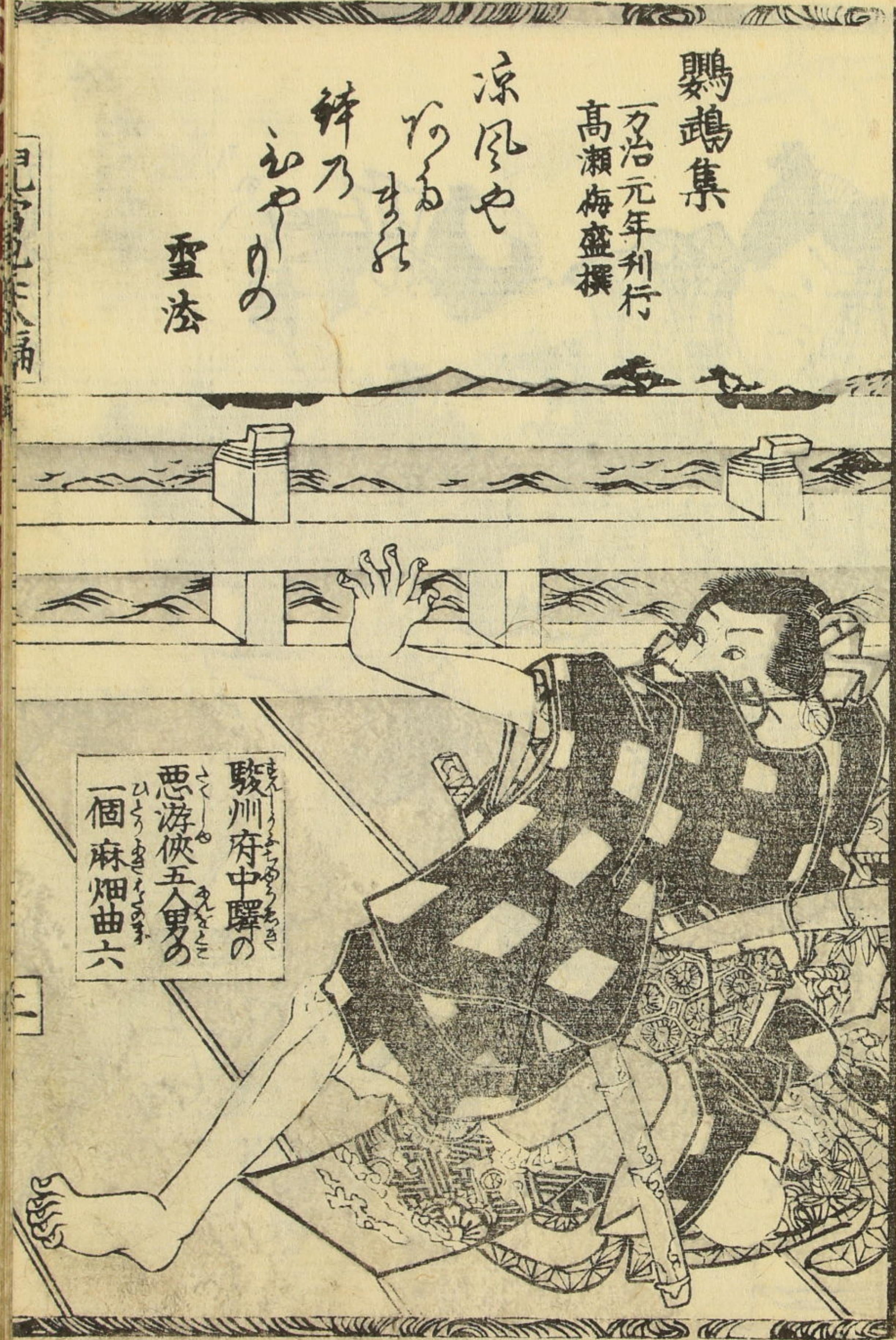
安政二年孟陽

柳下亭種員



日記也七八編





實^{じつ} 兩^{りゆう}田^{でん}塵^{じん}三^{さん} 浪^{なみ}
兒^こ雷^{らい}也^や

兒雷也

燒^や津^つ火^ひ出^で藏^{ざう}

姥^{おば}ヶ池^{いけ}深^{ふか}八^{はち}

兒雷也

古^こ枯^こ杜^と九^く郎^{らう}



片雷也丸八郎

遠近集

寛文六年刊行
西村長愛子撰

よきみ

のり

人

木の方

風



全
芳久保丸平

刀屋

處の
花女

鯉

藤

廊中

音名

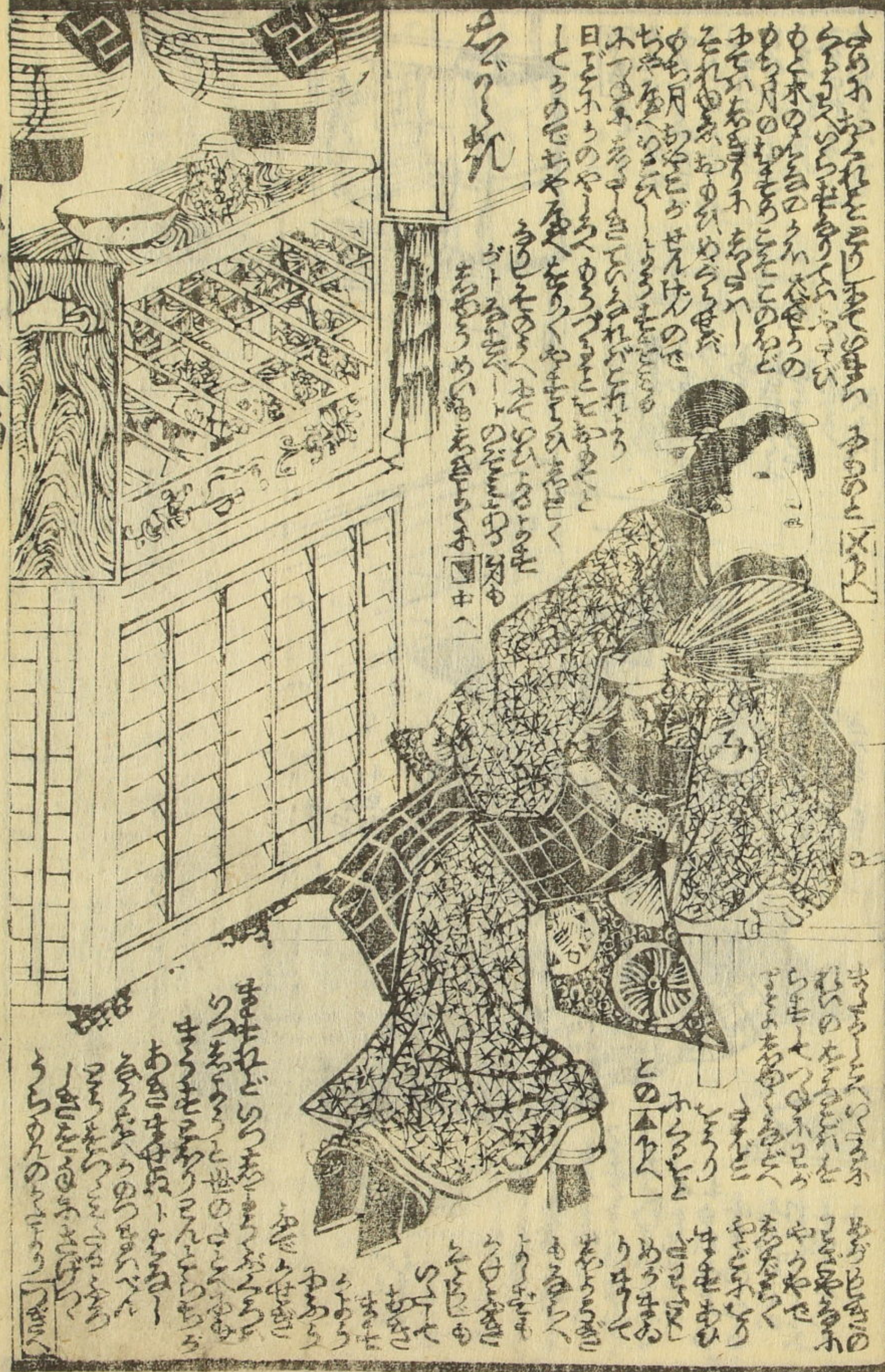
大暴浪



日九番也丸八郎



Vertical Japanese text columns on the right page, including a large block at the top and smaller sections at the bottom.



Vertical Japanese text columns on the left page, including a large block at the top and smaller sections at the bottom.

史記詩林

國光画

青洲書

種員作



種員作
 萬葉略記
 史記詩林
 陸
 昌

三編

女郎花五色石臺
 柳下亭種員作
 六編
 七編
 八編

一雄齋國輝画

小女郎
 曲亭馬琴作
 三編
 大尾

一勇齋國芳画

風俗淺間獄
 種久作
 國貞画

三編四編

黄金水大盃
 三編四編

立齋廣重筆
 東海道舟次繪巻

為永春水作
 川國貞画

小栗十騎
 照天松操月鹿毛
 金沢八景

春風亭柳枝作
 一雄齋國輝畫

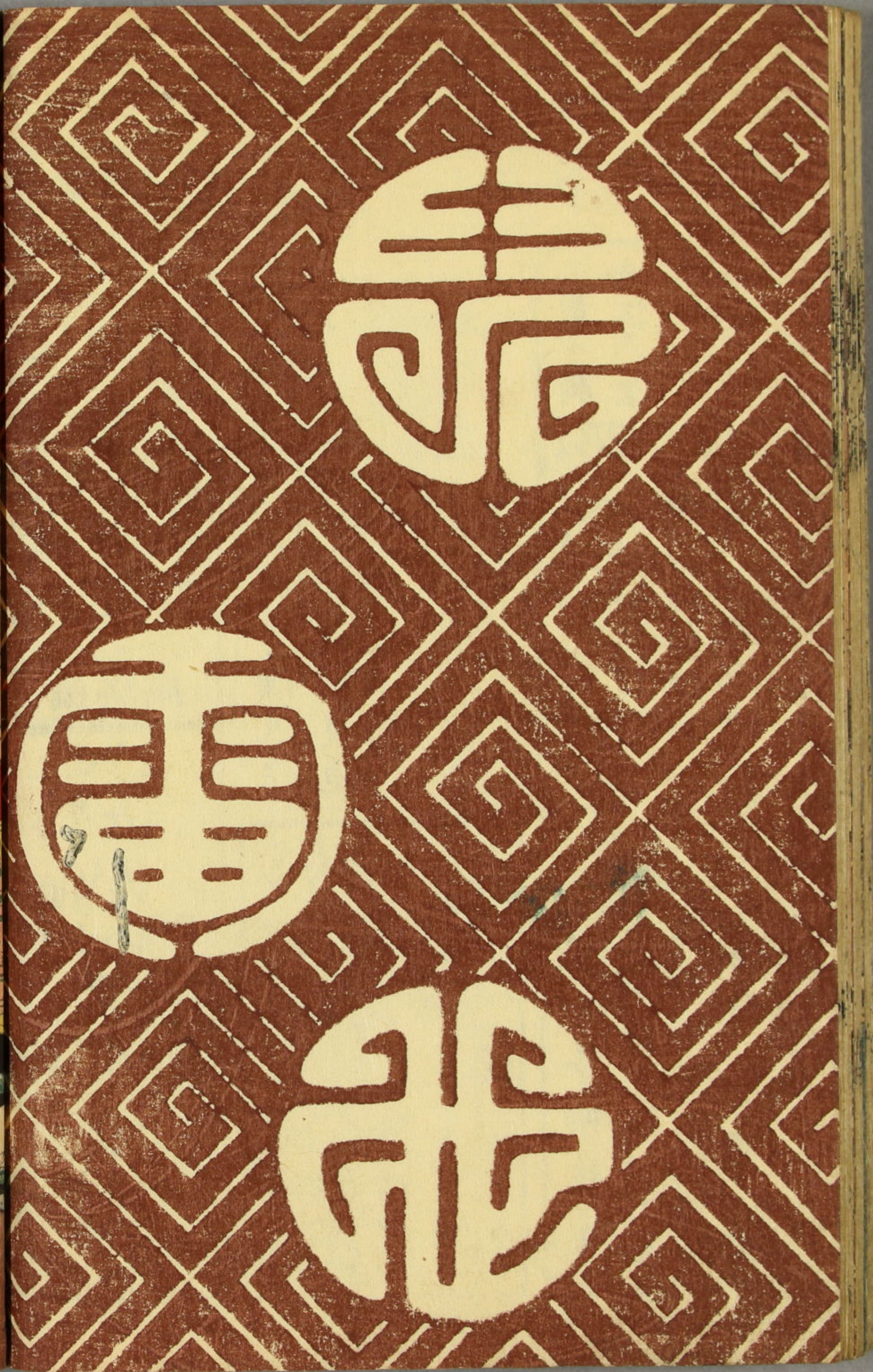
嘉永八乙卯新板目錄

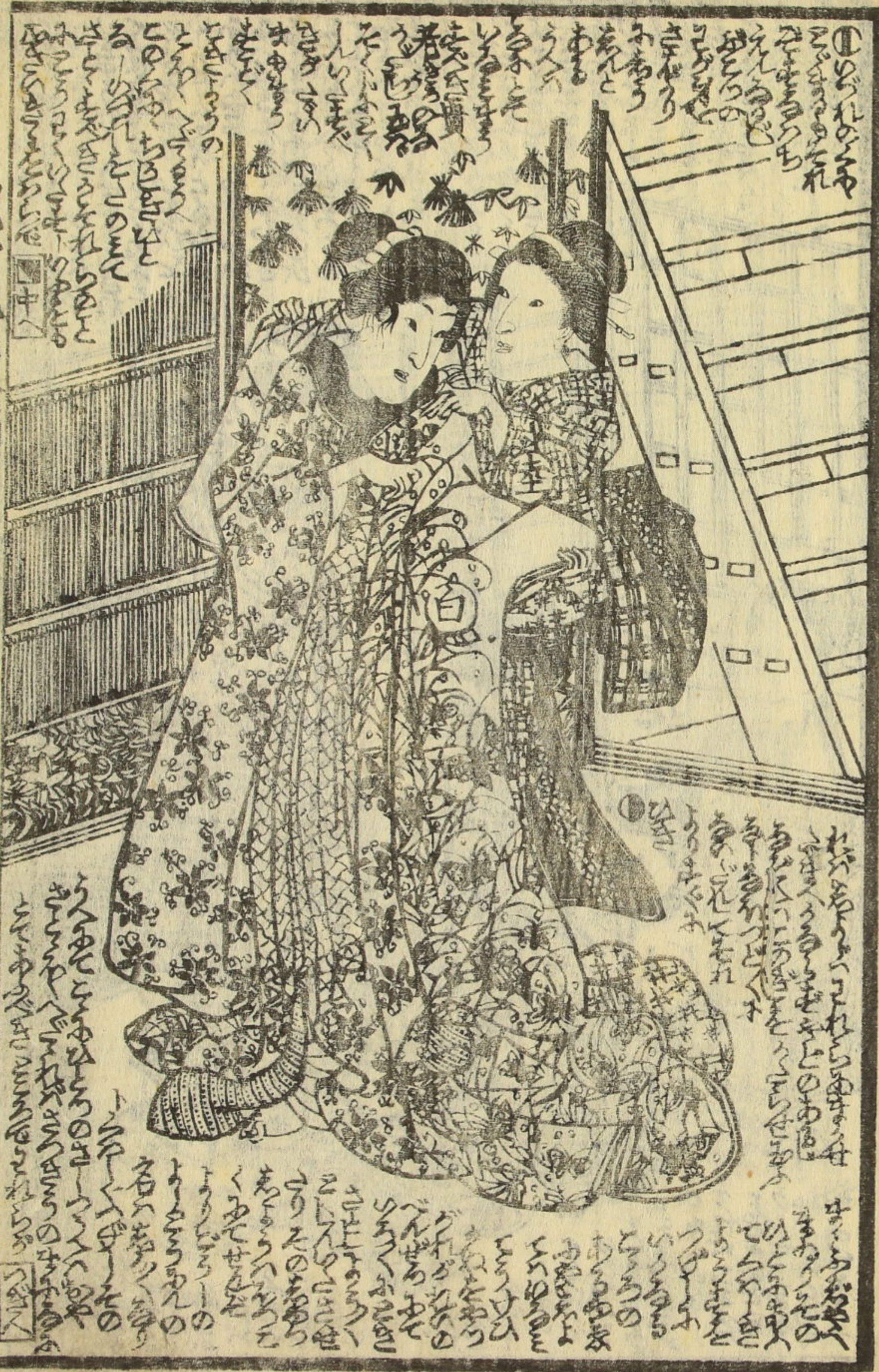
地本草紙問屋
 芝神明前
 和泉屋市兵衛板

一港高國先画

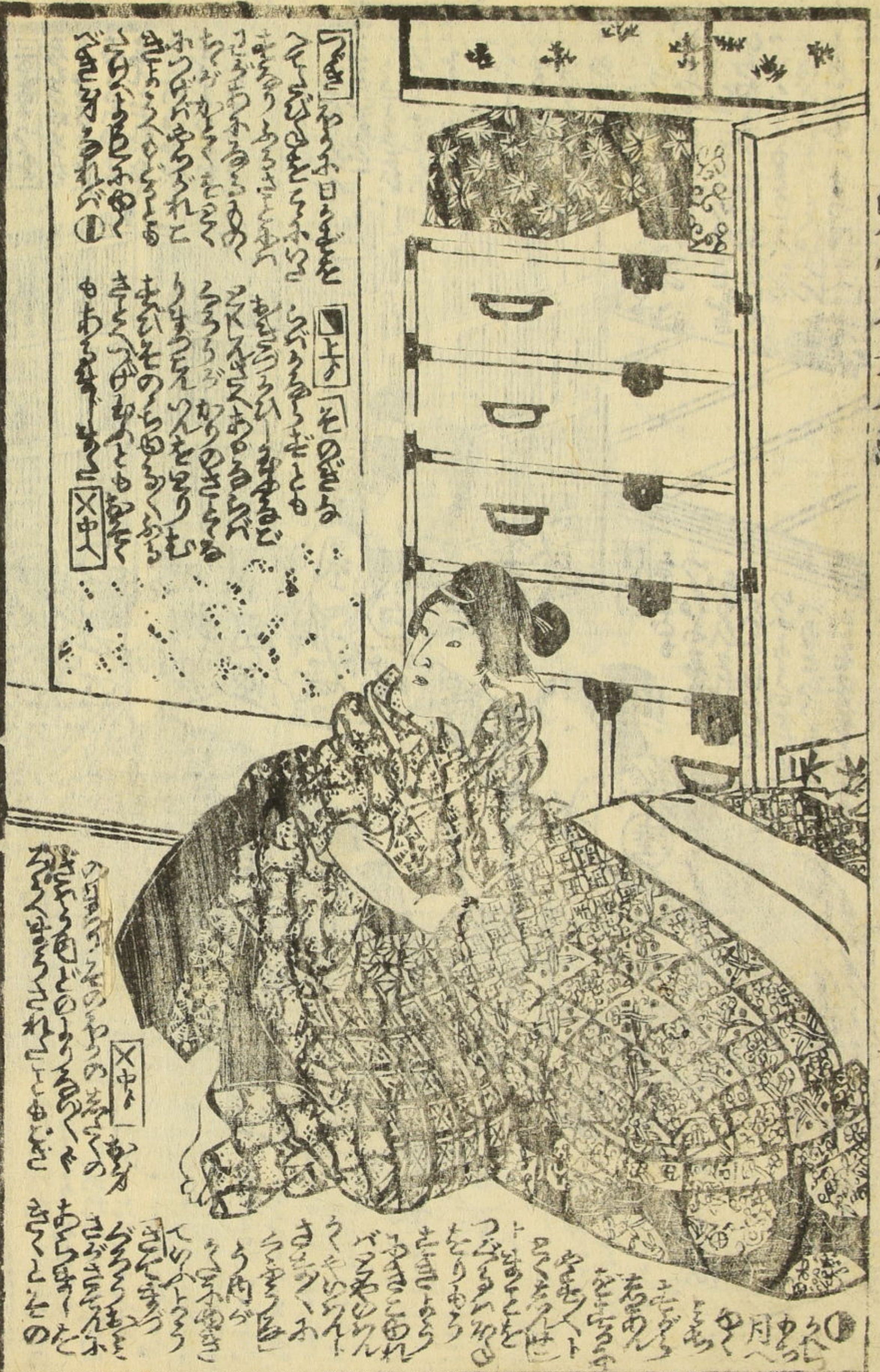


虎雷也豪像譚





日曜廿九



月廿八



此山名曰...

其石之...

其色如...

其形如...

其質如...

其味如...

其氣如...

其聲如...

其光如...

其影如...

其味如...

其氣如...

其聲如...

其光如...

其影如...

其味如...

其氣如...

其聲如...

其光如...

其影如...

其味如...

其氣如...

其聲如...

此山名曰...



此山名曰...

其石之...

其色如...

其形如...

其質如...

其味如...

其氣如...

其聲如...

其光如...

其影如...

其味如...

其氣如...

其聲如...

其光如...

其影如...

其味如...

其氣如...

其聲如...

其光如...

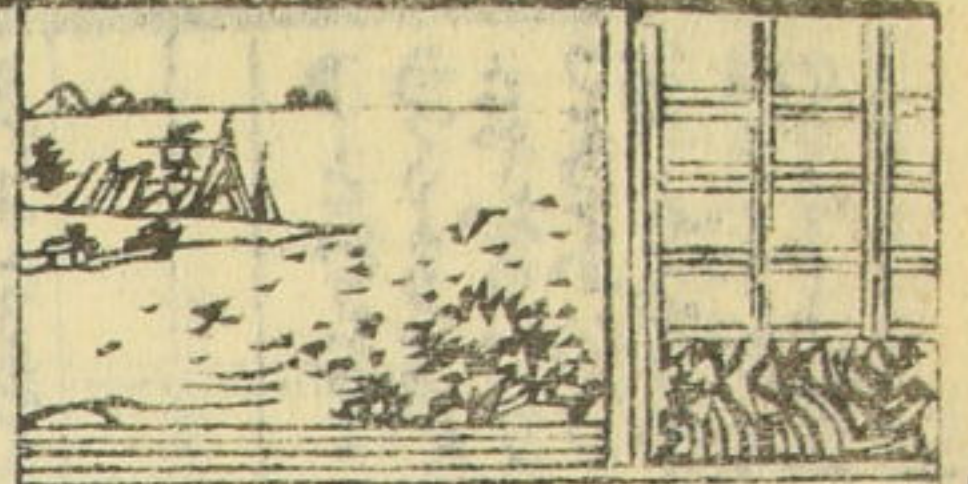
其影如...

其味如...

其氣如...

其聲如...

此山名曰...



あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに

あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに

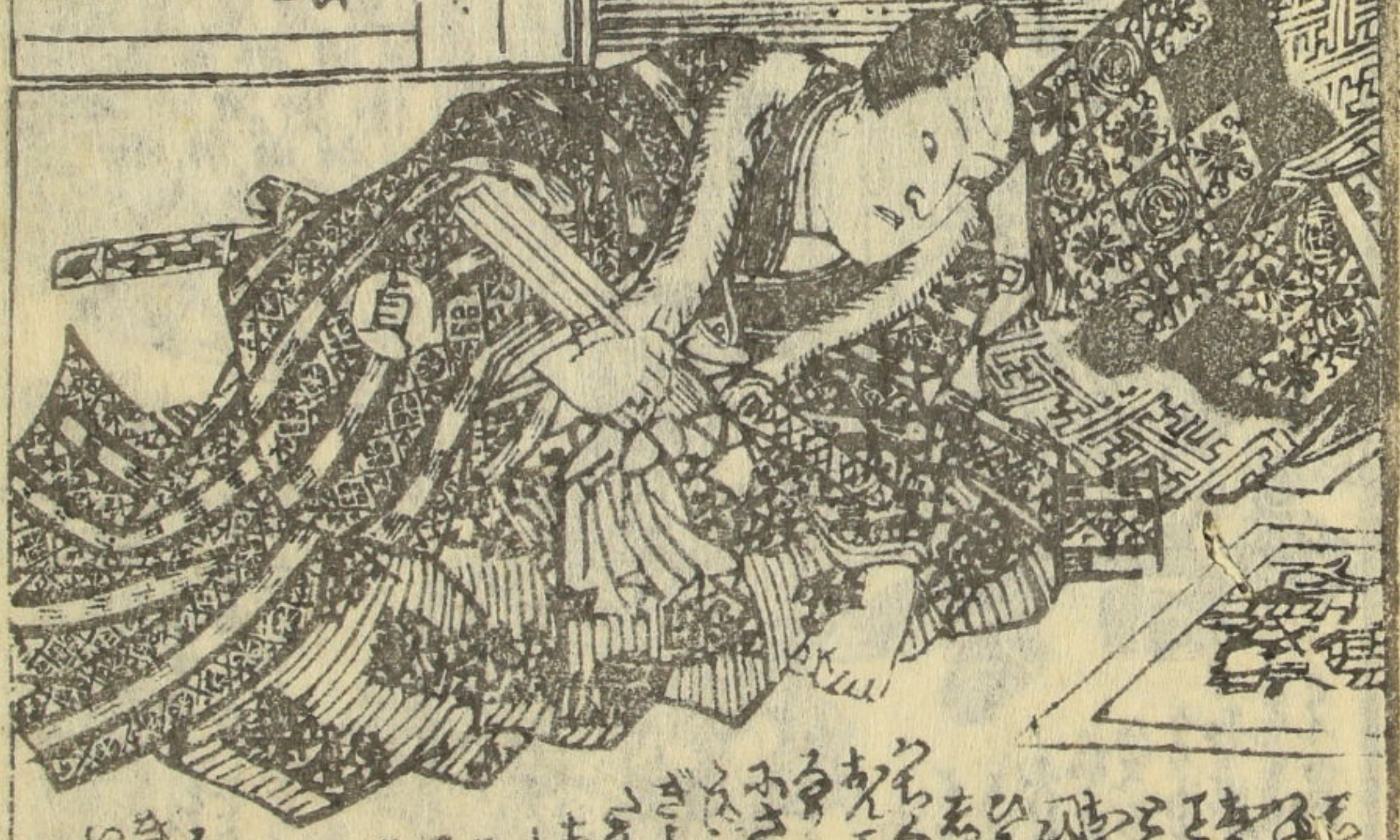
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに



あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに



あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに

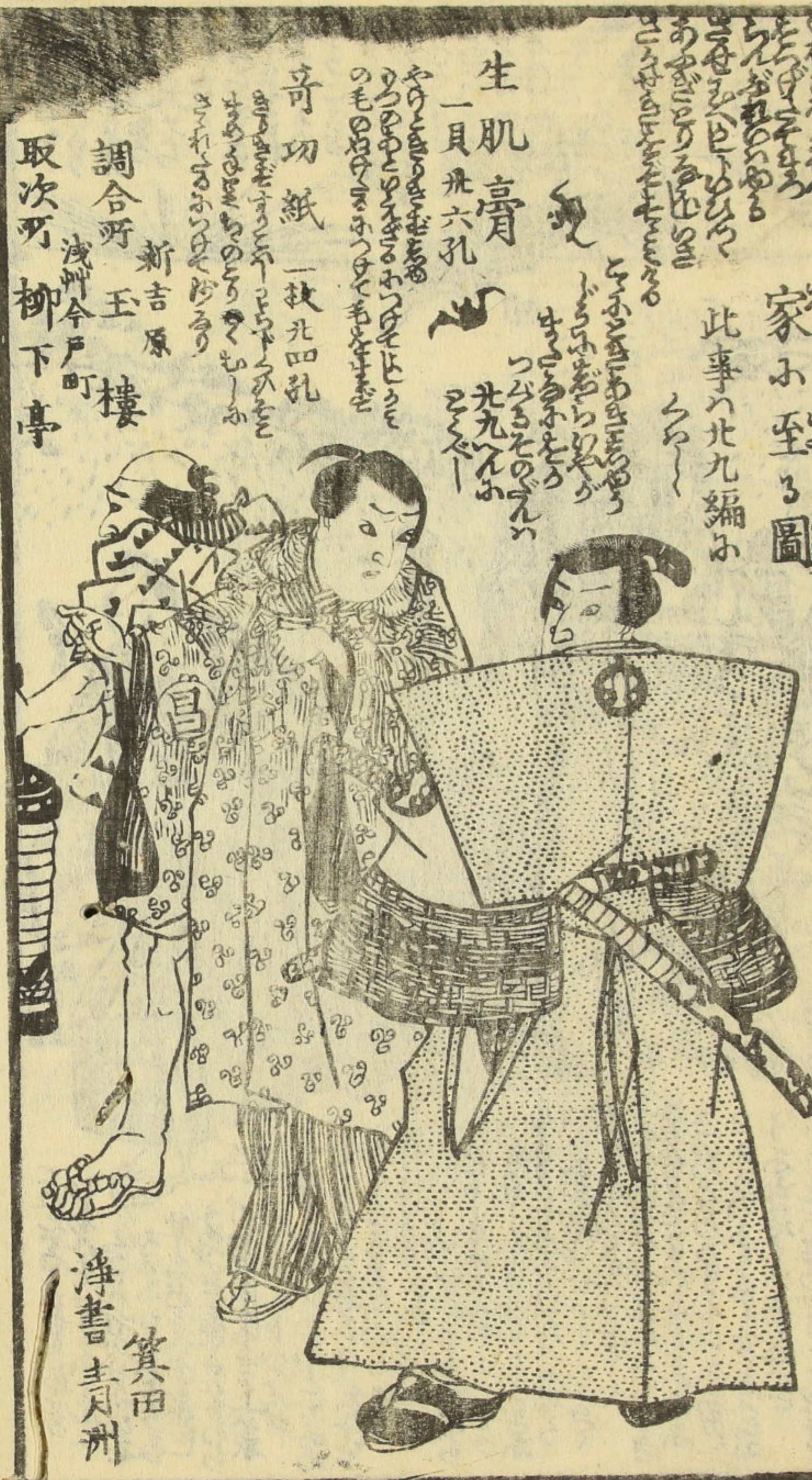


あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに

あまのついでに

現藤太昌存の
家小至る圖
此事の北九編の
ついでに

種員作國光画



生肌膏
一頁九六孔
奇切紙 一枚九四孔
調合所 新吉原 玉樓
取次町 柳下亭

箕田
浄書 三月州

兒雷也豪傑譚

廿六編 柳下亭種員作
廿七編
廿八編
廿九編 一雄齋國輝画

假名一休草紙

七編 八編 九編
柳下亭種員作
一雄齋國輝画

種員作國光画

種員作國光画
種員作國光画
種員作國光画

新編金瓶梅

十編 馬琴作
大尾 豊國画

地本錦繪問屋 芝神明前 甘泉堂和泉屋市兵衛板



兒雷攻豪傑譚

廿八編

甘泉堂梓



柳下亭種員作
一雄齋國光畫



國光